

## 2018年度 第2回日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会議事録

日時：2018年9月3日(月) 18:30~21:00

於：駒澤大学 大学会館 246 6階 第2会議室

出席者：(敬称略)：■出席、□欠席

■荒井浩道 □高山直樹 ■久保美紀 □稲垣美加子 ■岡田哲郎 □岡部卓  
□小野孝嘉 □北本佳子 □佐藤信人 □眞保智子 ■沈潔 ■田嶋英行 ■豊田宗裕  
□成田すみれ □贄川信幸 ■西田恵子 □山口麻衣 ■山田知子 □六波羅詩朗  
□渡邊浩文 ■西澤まゆみ(事務局)

### I. 報告事項：

#### 1. 研究大会委員会

- ・2018年度研究大会 日程候補日 2019年3月9日(土)、3月10日(日)
- ・会場 駒澤大学駒沢キャンパス 種月館
- ・テーマ 人材育成(福祉教育)
- ・基調講演者 未定
- ・シンポジスト候補者 小森先生(ソ教連)、青木先生(駒澤大学経営学部)、他
- ・オープニングワークショップ実施について

#### 2. 編集委員会

- ・6月末締切の投稿論文数 4本
- ・編集委員は、①査読委員を決める(関東部会委員以外可)、②第3査読を行い、③判定点検を行う。
- ・運営委員全員が編集委員となる。
- ・各期の編集委員長は名簿順に従う

#### 3. 広報委員会

- ホームページ
  - ・アクセス数1日およそ200~300。
  - ・ホームページは現状維持のまま、更新頻度を高くしていく。
  - ・既存のものを丁寧に、質を高めていく。
- ニュースレター/メールマガジン
  - ・論文掲載など情報提供をおこなう。

#### 4. その他

### II. 審議事項：

#### 1. 研究大会委員会

研究大会プログラム(日にち、基調講演者、親会賞学会賞受賞者2名、  
オープニングワークショップ、懇親会)

- ・経営学の観点から青木先生に基調講演いただく(提案)
- ・人材育成は幅広い。切り口が色々あるため、メッセージ性を決める必要がある。
- ・「優秀な人材を福祉業界へ」が課題。

- ・いかにブランドを確立していくかの問題提起をしていただく。
- ・福祉経営主体そのものが多様化している。企業は福祉的なものに乗出している。狭い範囲の「福祉士」ではなく、社会福祉のスピリットをもって働いている人がいる。一般企業で障がい者雇用が必要となっているから境目はない。経営的発想で売れるものを開発してブランドを作り、世界に発信している中で、敢えて社会福祉士を採らなくてもいい。活躍するところはたくさんある。昔から民間企業に就職している。社会福祉の視点は社会的に広がっている。人材養成で切り込むのは相当考える必要がある。

- ・福祉人材の確保
- ・福祉組織を他分野からみる
- ・社会的企業論、供給主体の多様化
- ・関東地域ブロック研究交流プログラムについて
  - 奨励賞(関東部会会員)に記念講演を依頼してきたが、今回は20分ほどご発言いただき、交流をする(提案)→大学院の発表を推奨しているため、キャリア形成に繋げたいため。
- ・ディスカッションの時間が必要。自由研究の質疑応答の時間を確保する。
- ・北海道ブロックからの研究交流の申し出について
  - ブロックが単独で行うより、連携・交流は課題となるだろう
  - 上記参加の場合、関東部会が次の準備を要する。
    - ①教室2室(5人の場合)、②座長2名、③アルバイト2名
  - 北海道ブロックより、①参加と発表の承諾、②交流会の承諾の依頼あり。
    - 担当議事名で事務局より以下を返信する。
      - ①研究発表は2名に限定、②交流会参加費2000円、参加自由。
    - 研究発表は「社会福祉学会の会員であること」が応募条件となっている。
      - 「関東部会の会員」と応募要項に記載が必要。参加に関しては制限なし。
  - ・懇親会は、事前申込み・事前入金とする。当日参加可。
  - ・研究発表の締切日、ワークショップ締切日、懇親会締切日と締切日複数設定

2. 編集委員会 上記済

3. 広報委員会 上記済

### III. その他

1. 第3回運営委員会開催候補日 11月5日(月)または11月15日(木)
2. 第2回研究大会担当委員会開催候補日 9月10日(月)または9月19日(木)
3. 広報の充実について
  - ・ソ教連の関東部会と連携出来るとよい。
  - ・研究大会開催について、社協広報誌(福祉広報)、福祉新聞などに掲載予定。
4. 編集委員宛の業者のmailにパスワードが掲載されているが、mailの文面にパスワードが必要なページの内容が開示されている。
5. 各期の編集委員長は原則名簿順(事務局よりmailにて編集委員の先生方に配信)。

- ・ 2018 年度  
9 月末締切（岡部先生）、12 月末締切（北本先生）、3 月末締切（眞保先生）
- ・ 2019 年度  
6 月末締切（山口先生）、9 月末締切（渡邊先生）、12 月末締切渡（北本先生）、  
3 月末締切（眞保先生）

記録: 事務局